

園芸学科通信

第12号



レイカディア大学・米原校

滋賀県レイカディア大学 卒業証書授与式

米原校・草津校 『第38期生の卒業式』



滋賀県レイカディア大学、第38期生の「卒業証書授与式」が行われました。快晴に恵まれた、平成29年9月30日水曜日、米原市下多良山にある「滋賀県立文化芸術交流会館」には、卒業生と親戚や同窓生が、交流の輪が広がっていました。

今年度の卒業生は、米原校3学科で計49名、草津校6学科で計117名、卒業生全体の合計は166名でした。卒業証書授与式は、午前10時から「開式の辞」で始まり、国歌及び校歌の斉唱の後、「卒業証書授与・皆出席賞授与・功労賞授与」と続き、また、今年度で退任する講師に対して感謝状が贈呈されました。

その後、授与式は渡邊学長の式辞と続き、学長からは「地域活動の担い手となって、地域づくりに仲間つくりの先頭に立ってください」と卒業生を送る言葉がありました。式次第は続き、来賓として招かれた池永滋賀県副知事やレイカディア大学同窓会長、来賓のみならずの祝福があり、それぞれの方が思いの祝辞を述べられました。在校生による送辞や卒業生による答辞があり、全員で「仰げば尊し」を斉唱した後、司会者の閉式の辞によって無事終了いたしました。



39期生による受付と来賓への対応

授与式開始の時間まで、在校生である園芸学科38期生一同、ロビーに集合し、受付係や来賓への対応係を事前に決めた役割担当のうちに、受付を開始しました。卒業式に出陣する各草津校や米原校から集まった約150名の対応に追われていました。

第38期 園芸学科卒業記念 卒業生を送る会を開催

於：エフシブ琵琶湖(湖都の園)

第39期園芸学科では、第38期生の卒業式を間近に控えた頃、親睦会担当委員である、桂田・川崎・廣田・前田の各氏が中心となり、「卒業生を送る会」を計画しました。卒業証書授与式を終えた9月6日の午後、第39期生一同は、送別会の会場であるエフシブ琵琶湖の送迎バスで集合した後、会場の設置を行い、記念撮影や行事を終えた第38期生の到着を待ちました。



卒業生を送る会は、桂田芳明委員の司会で行い、第39期水原学科長及び第38期北村学科長の挨拶があり、田中副学科長の挨拶の発声と同時にくす玉を割り懇親会が始まりました。くす玉を割ったのは、園芸学科の金庫番である、中川幸治氏と杉村百合子さん。開宴の調へとして今堀まよ子さんの琴による演奏が花を添えました。



桂田芳明、39期親睦会担当委員の司会による開式の辞

余興の時間になると、みんなが芸達者なところを披露、カマコゲで歌唱、39期生全員で「青春時代」を高音、スロウなリズムによる「帰ってこい」をバッキングに盛り上げました。最後は、参加者全員で校歌「レイカディア賛歌」を高らかに歌い、38期、藤原副学科長の挨拶で閉会となりました。

選科講座を受講

カーテニング・花の種まきの実習 講師 南 敬孝 氏

第39期園芸学科、1学年最後の後期選択講座「カーテニング・花の種まき実習」を受講しました。午前中の講義は、種まきを行う際の基本項目を学びました。草花の種まきについて、種く時期によって分けられるもの、春まきの種く時期は寒さに弱いもの(コスモス・サルビア・朝顔・マリゴールト)が多く、定期的には4月中旬から5月上旬、秋まきの種くは寒さに強いので、一度低温に合わない花が咲かないもの(スイートピー・ハンジュー・クセンカ等)が多いので、9月中旬に種くのが好ましい。また、発芽に必要な条件としては、適度の温度や適度の水分そして酸素が必要であることを学びました。



以上のことを踏まえて、午後から種まきの実習を行いました。今用意していた種子は、パンジーのなかまであるピオラとテイジー(ヒナギク)そしてクリサンセムなどの5種類、フラグレット(200cc)にヒンゼットなどを使って慎重に播きました。



勉強した発芽の3条件を考えながら、霧點になり種子を丁寧に蒔く

編集後記 平成29年9月30日発行「第39期・園芸学科通信第12号」をお届けします。今月は、先陣を第38期生の卒業式があり記事のほとんどがこの話題で占められました。園芸学科通信第12号を発行することができ、あつたという1年間で、来月から2年生になり、紙面の充実を図るとも新たな課題となると思われます。第39期生のご協力をお願いします(と)と、投稿・寄稿をよろしくお願いいたします。(住)

課題学習 樹木剪定実習を実施

石の寺・教員坊の庭園管理

第39期園芸学科生による課題学習の対象事業として行っている庭園管理「教員坊(安土町)」ですが、5月23日及び6月29日に続いて、9月27日、第3回目の庭園管理(剪定作業及び目づき)を行いました。教員坊の由緒については、既報のとおり、推古13(605)年に聖徳太子により創建されました。寺名の「教員」とは聖徳太子が林の中で教を説かれたこと由来し、境内には「太子の説法石」と呼ばれる大きな石と本尊を祀る霊屋が残され、「石の寺」と呼ばれます。書院西面の名勝庭園は小堀遠州作と伝えられ、枯れ滝・鶴島・亀島など目を引いて豪快に表現された桃山時代を象徴する池廻遊式庭園です。

